

会 議 録

会 議 名	令和2年度第4回米原市図書館協議会
開 催 日 時	令和3年1月24日（日）午前10時00分～午前11時10分
開 催 場 所	山東図書館 研修室
出席者および欠席者	出席者：寺村和美委員、井上智子委員 伊藤めぐみ委員、膽吹英子委員、久保田吉則委員、 今中雅美委員、和田昌子委員、山下秀一委員 欠席者：清水冬子委員 事務局：山本教育長、上村部長 梶田館長、梶川館長、押谷主事、寺義主事、武山主事
議 題	協議事項 米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）案について 報告事項 米原市子ども読書活動推進計画（第3次計画）について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	○第2章への意見 ・ 8 ページ「(2) 図書館の利用が困難な方へのサービスについて」 70歳以上の方、図書館から遠い地域に居住している方、図書館の利用にハンディキャップがある方、日本語を母語としない人の4つを主語にして分けて書いてあると理解しやすい。それぞれに具体的に 行おうとしていることがあれば、それも書いてはどうか。 →図書館の利用が困難な方について整理して、分かりやすくなるよう再考する。具体的な取組については、第4章で検討していく。 ・ 6 ページ「(1) インターネットサービスについて」で資料の予約と書いてあると、貸出中の本だけしか予約してはいけないのではないかと思う人もいるのではないか。 →誤解が生じないように再考する。 ・ 8 ページの課題の「団体貸出より施設への定期的な配本を希望される傾向がみられ」の意味が分からない。また、団体貸出の意味が分かりづらい。 →分かりやすくなるよう再考する。 ・ 9 ページの「今後も引き続き整備を続けていくことが重要です」は、課題の文面ではないか。「多くの学校で学校図書館の整備を進めることができましたが、まだまだ不十分です」のような書き方にしてはどうか。

	<p>→検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9 ページの表の「高齢者福祉施設への貸出冊数」の3,000冊は団体貸出のみでは達成が難しいのではないかと。 <p>→社会情勢の変化に伴い、数値を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 19ページ「まいばら読書の日」の取組で学校の図書委員はもちろんだが、交通安全や人権の時に標語やポスターを募集するように、学校全体の取組として周知をしてはどうか。 <p>→検討する。</p>
<p>会 議 録</p>	<p>■会長挨拶</p> <p>皆さんこんにちは。令和3年は、新型コロナウイルス感染症の第3波の中で迎えることになりました。まだまだ不自由な環境ですが、心豊かな思いを持って、前向きに生きていくことが大切だと思います。そのために、3密を避けるなど感染症対策を十分に行った上で、図書館には工夫を重ね、楽しく過ごせる空間を作ってもらえることを期待しています。どうか皆さんの知恵も貸してもらいたいです。よろしくをお願いします。</p> <p>■教育長挨拶</p> <p>皆さんこんにちは。日曜日はゆっくり休んでもらうべきですが、第4回図書館協議会に出席していただき、ありがとうございます。コロナ禍で、本市でも毎日のように感染者が出ています。学校でも濃厚接触はありますが、次なる感染陽性者が出ていないので休校することなく授業を続けることができます。私自身もどこでどのような形で濃厚接触者になるか全く未知な状況なので、今日も常に緊張感を持ちながら、対応していきたいと考えています。時間短縮の中でできるだけ濃密な議論をしてもらいたいです。また、皆さんの議論のおかげで米原市子ども読書活動推進計画（第3次計画）は、令和3年1月に最終決裁が終わり、策定に至りました。ありがとうございました。今は、教育振興基本計画（第3次計画）の策定を進めています。その際に話題になると思いますが、「みんなで読書」「まいばら読書の日」が、大きなウエイトを占めるのではないかと思います。子どもから高齢者まで、みんなで本を読もうという事業が展開されることが、生涯学習の推進にもつながると思っています。教育振興基本計画策定に係るアンケートに、約800名の方の回答がありました。「サービスが充実している」に「そう思う」あるいは「どちらかと言えばそう思う」を選んだ人の割合は、約55.6%でした。約60%の方は充実していると思っていますが、裏を返せば約40%の</p>

方は、サービスが不十分と思っているということです。また、子どもに身に付けさせたい能力や態度について、読書習慣を選んだ保護者の割合は、約36%でした。この結果には、満足していないので、「みんなで読書」「まいばら読書の日」を頑張って取り組んでいきます。委員の皆さんには、コロナ禍でもありますので時間短縮をして、できるだけ濃密な議論をよろしく願います。簡単ではありますが、挨拶とさせていただきます。

■事務局

協議会の委員数が9人で本日の出席人数が8人、米原市立図書館条例施行規則第16条第2項の規定により過半数の出席を得て定足数に達しておりますので、会議は成立していることを報告します。米原市立図書館条例施行規則第16条の規定により、会長が議長になると定めているため、ここからは会長に進めていただきます。よろしく願います。

■会長

協議事項に入ります。今日は、第1章と第2章について議論をして完成させることがメインです。そのため、こちらに活発な意見を願います。利用者アンケートの結果は、事務局が十分な集計と分析ができていないため、第5回に延期します。第3章と第4章は、今日事務局から説明があります。こちらについては、おおまかな意見は聞きますが、第5回に再度議論します。当初の予定では、終了時刻が11時30分でしたが、新型コロナウイルス感染症が拡大しているため、できるだけ時間短縮をします。どうぞよろしく願います。

それでは、第1章、第2章について事務局から説明をお願いします。

協議事項

米原市立図書館サービス基本計画（第2次計画）案について

■事務局

会長からも説明いただいたように、アンケート結果の分析が間に合わず、申し訳ございません。また第5回で提出しますので、よろしく願います。

【第1章 計画の概要】および【第2章 第1節 第1次計画の成果と課題】に基づいて説明

■会長

第3回の意見を基に修正してもらいましたが、皆さん御意見など

いかがでしょうか。

■A委員

8ページ「(2) 図書館の利用が困難な方へのサービスについて」を読んでいくと、対象者が4種類だと分かります。70歳以上の方、図書館から遠い地域に居住している方、図書館の利用にハンディキャップがある方、日本語を母語としない人です。この4つを主語にして分けて書いてあると理解しやすいと思います。それぞれに具体的に行動していることがあれば、それも書いてはどうでしょうか。

■事務局

表現を検討します。具体的な取組は、第4章で検討していきたいと思います。

■B委員

6ページ「(1) インターネットサービスについて」で「知らないし、利用したくない」と「知っているが利用したことがない」を合わせると、多くの方がインターネットサービスを利用していません。資料の予約と書いてあると、貸出中の本だけしか予約してはいけないのではないかと思う人もいるのではないのでしょうか。例えば、近江図書館に行く時に近江図書館の本棚にある本を予約するのも良いですね。

■事務局

はい、大丈夫です。

■B委員

更にインターネットサービスを進めていくべきです。私は使っていて便利なサービスだと思いますし、特に今コロナ禍で、できるだけ滞在時間を短くしようと思ったら、予約をして職員さんに用意してもらっておいて、受け取るだけということを進めていく方が良いと思います。そこをもっと強調してはどうでしょうか。また、前に電話での予約はできるようになったと聞いたのですが、FAXでの予約はできますか。

■事務局

FAXでの予約は、コロナ禍以前から行っているサービスです。氏名・電話番号・カード番号・書誌事項などを書いてFAXしてもらえれば、本を用意しています。

■B委員

インターネットで予約するのはハードルが高い人もいると思うの

で、FAXの様式を作って、帰る時に「読みたい本があれば、これでFAXしてくれたら予約できます」と案内するともっと利用が増えるのではないかと思います。ちなみに、FAXは蔵書の予約のみの受付ですか。新刊で購入してほしい本を、FAXでリクエストするのはできませんか。新刊のリクエストは、必ず来館しなければいけませんか。

■事務局

はい、新刊のリクエストは来館が必要です。

■C委員

8ページの課題の「団体貸出より施設への定期的な配本を希望される傾向がみられ」の意味が分かりません。定期的な配本を、団体貸出で行っているのではないですか。団体貸出と定期的な配本は、全く違うことですか。

■事務局

こちらの意味合いとしては、団体貸出は、施設の方が来館して選んだ上での貸出で、定期配本は、施設の方がリクエストされた本をこちらが施設に持って行くことです。施設に本を持ってきてほしいという要望が多かったです。

■C委員

配本していると思っていました。「来てもらうだけでなく図書館から出向いてのサービス」は、図書館が出向いて読み聞かせをするサービスなどのことではなく配本のことですか。

■事務局

配本でもあり、高齢者施設での読み聞かせをするサービスなどもあります。まだ要望はありませんが、今後それらを図書館が行うかボランティアの方に行ってもらうかはまだ決まっていません。

■C委員

その辺りを、もう少し考えた方が良いと思いました。

■事務局

表記を検討します。

■A委員

「団体貸出」は、意味が分かりづらいです。

■事務局

併せて検討します。

■会長

小説など複本を購入した時は、全て貸し出していますか。それと

もサンプル本として1冊は残しておきますか。

■事務局

リクエストが何十件も来る絵本やシリーズで購入している児童書は、同じタイトルを複数購入します。しかし、今はそれ以外の本は複数冊の購入は、していません。

■A委員

高齢者施設へは図書館にどのような本があるか周知できていますか。

■事務局

まだできていません。

■A委員

リストを配ると良いのではないのでしょうか。前に大活字本のリストをもらえて助かりました。

■事務局

大活字本は、高齢者施設の方に手に取ってもらえそうですか。

■A委員

どのような本があるか分からない方や、大活字本を知らない方が多いと思うので、高齢者を対象にしてリストを配ったら良いのではないのでしょうか。全部を載せなくても、メインだけで良いかもしれません。

■事務局

人気がありそうな本だけでもリストにすると良いということですね。

■副会長

9ページの「今後も引き続き整備を続けていくことが重要です」は、課題ではないのでしょうか。「多くの学校で学校図書館の整備を進めることができましたが、まだまだ不十分です」のような書き方にしてはいかがでしょうか。

■事務局

検討します。

■C委員

9ページの表の「高齢者福祉施設への貸出冊数」は、来館してもらった前提の数字ですか。それとも配本を含めての3,000冊ですか。

■事務局

来館してもらった団体貸出での数字です。

■C委員

減少しているのに、3,000冊は厳しいのではないのでしょうか。変わらず来館してもらうだけでは、なかなか利用は増加しません。高齢者施設から届けてほしいという要望があるので、配本を含めての3,000冊という目標冊数だと思いました。

■事務局

第1次計画を策定した時点で1,624冊という実績があったので、3,000冊まで増やしたいという思いで目標を掲げました。意見いただいたように、ボランティアさんとの連携もできたらと思っていますが、まだ進められていないのが現状です。

■C委員

ボランティアの代表をさせてもらっているので、先日館長さんに高齢者施設への配本の件で、図書館の意向や計画スケジュールを開きました。コロナ禍であるため、令和3年はまだ動かないと言われました。その中で、令和3年度の目標が来館してもらう前提で3,000冊となると、かなり厳しいのではないかと思います。

■事務局

3,000冊は、コロナ禍を踏まえた目標設定ではありません。

■C委員

昔に策定した数字ですか。

■事務局

はい、第1次計画の策定時に設定したものです。

■事務局

社会の情勢がかなり変わりましたが、変更はできませんか。

■C委員

「3,000冊を達成しなければならないので、ボランティアさんが配本を行ってください」と言われれば行きますが、先日の打合せではそのような話にはなりません。新型コロナウイルスによる高齢者の死亡率が高い中で行うべきではないというのは、私も納得しています。

■副会長

ボランティアが出向いて読み聞かせをすることは、コロナ禍での心配があると思いますが、配本はコロナ禍だからこそ必要ではないのかと思います。

■A委員

私もその意見に賛成です。3,000冊が多いなら目標冊数を下げても良いのですが、来館を待っているより、配本のようにこちらから働

き掛けていく方が良いのではないのでしょうか。私の親戚は認知症ですが、大活字本を持って行くと自分で読みます。全員同じとは思いませんが、本を目の前にしたら読む方もいると思います。高齢者のためや認知症予防、あるいは認知症改善のために本は役に立つと思います。C委員は配本してはどうかという意見だと思いますが、どうでしょうか。

■副会長

C委員は、図書館の意向などを聞いているので、その上でこの目標冊数は厳しいのではないかという意見です。

■C委員

配本は、施設側が受け入れてくれるかどうか問題となります。

■A委員

私も実際に行っていましたが、コロナ禍により入館禁止になりました。1年ほどできていないので、もう少し行いたかったです。

■C委員

もう一度、目標冊数の見直しをしてはいかがでしょうか。

■事務局

社会情勢が変わったので、皆さんが納得できる数値に修正しても良いと思います。

■事務局

P D C Aでチェックしながら見直しすべきです。

■会長

あまり現実とかけ離れた数字だとほかのところも怪しくなるので、状況に合わせた数字に直すのが良いのではないかと思います。

■B委員

19ページ「まいばら読書の日」の取組で、学校の図書委員はもちろんです。交通安全や人権の時に標語やポスターを募集するように、学校全体の取組として周知をするとより子どもたちが興味を持ってくれると思います。検討してください。

9ページ「子どもたちの読書活動を見守り、支援する図書館」に関連して、どこの小学校でも、前から巡回文庫の復活を望む声が多いです。大きな学校であれば、毎回行わなくても、まとめて学校に持って行けば、学校の中で本を回せると思います。小さい学校だと何回も持って行かないといけないかもしれませんが、どうしても学校図書館の本で運営していくのは厳しいので、巡回文庫の復活はかなり大きいです。先日も別の小学校の先生から、図書館に定期的に

学級文庫を借りに来館するのは負担が大きいという話を聞きました。その学校に勤めている学校司書の方に、先生と話してみようと言ったのですが、週1勤務では、先生と学級文庫について話し合う時間もないし、学校司書が学級文庫を運営するのはかなり厳しいというのが業務の実情です。巡回文庫の復活ができないのならば、せめて図書館が年齢に合わせて20冊くらいを選び、学校司書は取りに来るだけということができないのかと思います。来館して1から本を選ぶのは大変だと思うので、子どもたちの読書活動支援という面で、検討してもらいたいです。

■D委員

中学校に勤めている時に、朝読で中学生でも読める絵本を選んでもらって、何冊かを教室に置いていたイメージがあります。

■副会長

学校図書館の本ですか。

■D委員

いいえ、山東図書館の本です。図書館に選んでもらって置いていたことがあったと思います。

■B委員

団体貸出の案内には2週間前に申し出れば、一部は選ぶという記載があります。

■事務局

選んでほしいという要望があったのですか。

■D委員

はい、そうだと思います。

■事務局

学校支援のコーディネーターというかたちで関わっていた時に、そのような要望があったら何十冊と選んで持って行っていました。学校支援が終了すると同時にそれもなくなりました。

■D委員

そうですか。それを復活という話ですか。

■B委員

それに限定しているわけではないです。今は2週間前に言っても、選んでもらえるのは40冊全部ではなく一部だけです。そうなる結局先生が自分の目で見えて選んで借りるということになるので、それが負担になっているそうです。

■D委員

	<p>学校は担任の先生の名前でカードを作ることになっていますよね。</p> <p>■事務局 今年度はそうです。</p> <p>■D委員 小学校はそれで良いと思いますが、中学校は教科担任なので学校のカードとして作ってもらいたいです。</p> <p>■事務局 団体貸出の登録方法について、見直しを行っているところです。中学校はクラス単位ではない方が良いということですか。</p> <p>■D委員 教科ごとに使えればクラス単位でも大丈夫です。</p> <p>■B委員 団体貸出の件で、1年ろ組のカードを担当の先生の名前で作ったら、次年度は新しい担任の先生の名前で登録をし直すということになっていますが、うまく引き継げておらず半分以上なくなっています。</p> <p>■D委員 学校管理で行えばいいのではないのでしょうか。</p> <p>■会長 そこは第4章の具体的な内容なので、次回にお願いします。おおまかなことは、これでよろしいのでしょうか。第1章と第2章について、前回の協議事項をまとめてもらったものに今回の意見を反映させて完成形を作るということで皆さんいかがでしょうか。 では、次に第3章と第4章について説明をお願いします。</p> <p>■事務局 【第3章 図書館の目指す姿】【第4章 具体的な取組】に基づいて説明</p> <p>■会長 全部協議すると時間短縮にならないので、第3章で区切って第4章は次回にしてもよろしいのでしょうか。</p> <p>■事務局 では第3章だけでお願いします。</p> <p>■会長 第4章に対して事務局は、委員さんに何を求めていますか。先ほどのカードのような、かなり細かいところまで意見を求めているの</p>
--	---

	<p>ですか。</p> <p>■事務局 図書館の5年間のサービスの施策や取組の方向性です。</p> <p>■会長 委員の皆さんはそれぞれ意見を持っていると思うので、かなり細かい意見も出して、あとから事務局で精査してくれますか。それで良ければ、「次回に向けて意見を固めておいてください」と案内します。</p> <p>■事務局 施策の方向性を議論してもらえるとありがたいです。</p> <p>■会長 今回は第3章までで終わります。次回、第4章をメインに議論します。その時に、皆さん意見を持ってきてください。 では第3章について、意見などいかがでしょうか。なければこれで協議を終わります。</p> <p>■副会長 第4章を考える上で質問をしても良いですか。</p> <p>■会長 どうぞ。</p> <p>■副会長 18ページ「対面朗読等を行うボランティアとの連携を強化します」で、対面朗読は今どのような状況なのか教えてもらえますか。</p> <p>■事務局 対面朗読自体は要望があったら行うかたちとしています。ボランティアさんにもお願いもしています。</p> <p>■副会長 待っているボランティアさんがいるということですか。</p> <p>■事務局 そうです。しかし、要望を受けていないので、実績はありません。</p> <p>■副会長 どのような形で希望される方を募っているのですか。</p> <p>■事務局 利用案内に対面朗読のサービスを行っていることを書いています。</p> <p>■副会長 拡大読書器は図書館にあるということですか。</p>
--	---

	<p>■事務局 ありますが、利用はされていません。</p> <p>■副会長 それは図書館で読むときに使うもので、貸出しはしていないのですか。</p> <p>■事務局 はい、貸出しは行っていません。</p> <p>■副会長 貸出しはできるサイズですか。</p> <p>■事務局 机の半分くらいの大きさなので難しいと思います。</p> <p>■副会長 筆談ボードはホワイトボードのようなものですか。</p> <p>■事務局 そうです。書いて消せるものです。</p> <p>■事務局 山東図書館では、ボタンを押したら書いた字が消えるものを置いています。</p> <p>■会長 第4章を考える上で前提となる質問があればお願いします。</p> <p>■B委員 郵送サービスの導入と書いてありますが、貸出返却どちらも郵送でできますか。有料ですか。</p> <p>■事務局 今想定しているのは、図書館の来館が困難な方に無料で利用してもらうかたちです。</p> <p>■B委員 これから検討ですか。</p> <p>■事務局 できるかどうかというところから検討していきます。</p> <p>■事務局 図書館サービスの充実として、新規項目を拡大することが本当に良いことなのか考えました。米原市で2館を運営する中で、両館とも来館者数も貸出冊数も減少しているため、いつも財政課と1館で良いのではないかという議論になってしまいます。そこでまずは、「みんなで読書」で図書館に来て読書の雰囲気味わって読書して</p>
--	---

みようと思えるように、来館者を増やすことをポイントとした方が良いのではないかと思います。来られない方に対しては、地域のつながりから高齢者向けのニーズを把握しながら団体貸出をするなど、考えの幅を広くする方が良いのではないのでしょうか。それは違うという意見でも結構ですので、皆さんそれぞれの立場でまた次回に向けて考えてもらえるとありがたいです。

■副会長

今だから施設に本を届けたいです。外に出向いて興味を持ってもらって、図書館に来てもらうという活動をどんどんしていきたいと思っています。

■C委員

来館者数や貸出冊数が減少している中であっても、12ページにあるように、平成30年度の個人貸出冊数が同規模自治体の中で全国第1位なのですね。

■副会長

以前に一度聞いたことがあって、もっとアピールしたらどうですかと言いました。

■C委員

今も近江図書館で書道展を行っていますが、知っている人がどれだけいるのかが問題です。先ほどのインターネットサービスもそうですが、情報発信にもう少し力を入れると来館者数が増加するのではないかと思います。絶えず課題に「周知していく」「認知度が足りない」と書いてあるので、もったいないと思います。

■会長

ほかになければ第3章で終わります。次回は第4章からで、教育長が言われたように来館者を増やすという意向を踏まえて皆さんの意見をお待ちしております。

それでは協議事項を終わります。報告事項を事務局お願いします。

■事務局

「米原市子ども読書活動推進計画 第3次計画」に基づいて説明

■会長

ではそのほか事務局からありますか。

B委員は現在小学校で様々な取組をしています。それをパワーポイントにまとめてくれていますので、次回発表を行いたいのですが、事務局よろしいでしょうか。

12月の市議会で質問のあった件について、コメントを事務局にお

願いたいです。

■事務局

学校図書館の図書の予算のことや地方交付税算定のことなど様々ありましたが、質問された市議会議員の方が言っていることが全てではありません。いかにも私が図書の充実には力を入れていないという話をしていたので、反論しておきました。学校図書館の予算は確かに少なかったが、各学級と市立図書館が連携し、巡回文庫によって子どもたちの身近なところに本がある環境は整えてきました。図書館協議会でも意見が出たシステム導入などの予算を決める最終段階です。私自身必要であると感じているので努力しています。まず残り6校の学校図書館のリニューアルを大前提に進めて、学校図書館図書標準を100%に近づけられるよう計画的に行っていきます。

■B委員

蔵書数によって、予算を決めるかもしれないと聞きました。蔵書数に関しては、どれだけこまめに登録しているのかが問題です。寄贈だから登録していない、登録する人手がないなどで、登録していなかったら、蔵書は少なくなります。私は、近江図書館の廃棄の本をもらうなど、少しでも多く登録しようと頑張っているのですが、蔵書数は多くなっていますが、だからといって予算が削られるのは、おかしいと思います。

■事務局

全学校に学校司書を配置したので、各学校で子どもたちにはこのような蔵書が必要で、これだけ足りないため予算を増額してほしいなどはしてくれています。しかし、リニューアルで約60%になってしまった学校もあります。一気に100%は無理にしても計画的に予算をプラスしながら行っていく必要があります。おそらく、学校が予算要求したよりもプラスαの予算で考えているので計画的に行います。必要なものは遠慮なく言ってください。

■会長

これで終わりましたので、事務局にお返しします。

■事務局

会長、会議の進行ありがとうございました。委員の皆さんにおかれましては、長時間慎重審議いただき、貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。それでは閉会に当たり、副会長から御挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願ひします。

■副会長挨拶

	<p>次回で今年度の協議会が終わるため私が焦ってもしようがないのですが、冷静さに欠けた発言をしてしまい失礼しました。来年度から学校でプログラミング教育が導入されます。デジタルの方向に捉えられがちですが、プログラミングするにも読解力が必要です。その中で「まいばら読書の日」に力を入れて活動していく米原市は頼もしいです。様々な場面で読解力が必要な中、私自身図書館協議会での意見を聞いて読解力に欠けていると感じます。次回の具体的な取組について、図書館が今後行っていくことの大事な1つの案となるように考えていきたいです。皆さんもよろしくお祈りします。</p> <p>■事務局</p> <p>それでは以上をもちまして、第4回図書館協議会を閉会します。長時間ありがとうございました。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 傍聴者： 0人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 (質問および発言者の委員名)</p>
<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input type="checkbox"/>開示</p> <p>■一部開示(根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>
<p>全部記録の有無</p>	<p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>録音テープ記録 <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>
<p>担当課</p>	<p>教育部 米原市立近江図書館 (外線 52-5246)</p>